大丈夫

み取

静けさの中での熱い戦い 聴覚に障がいがある人たちが競い合う 「デフリンピック」が日本で初めて開催されます。 クラフィー・ファット ロー・ファックの魅力と本市に住む 今号では、デフリンピックの魅力と本市に住む つっこの、ノノイン・グラブー・ロー・ 代表選手からの意気込みをお届けします。

圆☎712-8517障がい者支援課

デフリンピックとは

デフ (Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。 デフリンピックは国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD)が主催し、 1924年にフランスで初めて開催されました。現在では夏季・冬季大 会が4年ごとに行われており、東京2025デフリンピックは100周年 の記念すべき大会となります。選手は補聴器などを使わず、視覚に よる合図で競技を行うのが特徴で、聴覚障がいや手話への理解を深 める大切な機会にもなっています。





▲ICSDロゴ

▲東京2025デフリンピック

大会期間:11月15日(土)~26日(水) 参加国:70~80力国•地域

選手数:約3,000人 競技数:21競技

競技会場:東京都、福島県、静岡県

(ICSDロゴに関する一切の知的財産権は、国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD)が 保有し、日本では全日本ろうあ連盟が管理しています。)

11111 Pick Up

基本的なルールは通常の競技と同様ですが、デフスポーツ **ならではの特徴**があります。

【デフ柔道】

ため、選手の肩を叩いて知らせる

【デフバスケットボール】

笛やブザーの音が鳴った際、コートやベンチにいる選手へ旗 を振って伝える



デフ柔道

1981年生まれ。県立八千代特別支援学校勤務。 ◎第22回夏季デフリンピック競技大会ソフィア2013 柔道(男子) -60kg級 銀メダル ◎第1回アジアろう者柔道選手権大会 男子 - 60kg級 銀メダル

次の大会でも選ばれるように合宿や練習を頑張ります。今大

会はチームが金メダルをとれるように応援でチームを盛り上げて

必死に相手についていく、粘り強いディフェンスが得意です。

代表キャプテンの若松優津選手です。一番頼りになる存在で、

同じポジション (ポイントガード)として目標の選手でもあります。

12年前のリベンジ、自身最後の挑戦 夢の金メダルへ

---本市の印象

アクセスが良く、住みやすいです。それと人が優しいと感じます。引っ 越したばかりの時、手話でコミュニケーションをとりたいなと感じてい たところ、手話サークルの方々が温かく迎えてくれたことが印象に残っ ています。

――注目してほしいところ

私の持ち味は右でも左でも投げられることです。右で投げると思わ せて左で投げるなど、相手を惑わせます。 -60kg級は軽量級なので、ス ピード勝負が見所です。瞬き厳禁でお願いします。

――応援してくれている方々へ

中学校の頃から柔道を始めて、今までたくさんの方に叱咤激励をい ただいたので、その方たちへ感謝の気持ちをもって、良い結果報告をし たいです。頑張ります。



▲練習中の吉良選手(左の一本背負い)



IAPAN

デフバスケットボール

2010年生まれ。クラブチーム「ブルーペブルズ」所属 ◎所属チームにて第53回千葉県U15中学校バスケットボール 選手権大会 女子 優勝

◎日本デフバスケットボール協会女子日本代表強化指定選手

「サインエール」で、

きこえる・きこえないに関わらず選手を応援するため、 音に頼らない応援の形として、「サインエール」が開発され ました。3つの基本要素を紹介します。



領の横で両手をひらひら



勢いよく前に突き出す

右手を左胸に当てる

両拳を前に突き出す





右手は丸の形



左手の下から 右手をくぐらせる



つかみ取るような動き



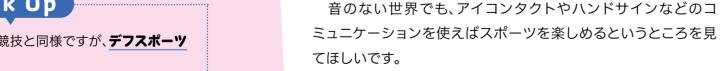
サインエールの実際の動きは、 左記2次元コードで確認してください。

▲サインエール

市役所に来てくれました

10月21日、両選手が市長へ表敬訪問され、大会への想いや意気込み を語ってくれました。見送りの際に、来庁者や職員からもエールを送 りました。





競技の観戦方法

など、大会の詳 細は、下記2次元

コードで確認し

▲大会Webサイト

てください。

「始め」「待て」などの審判の指示がきこえにくいことがある

コートの対角に旗を持った「フラッグマン」を配置し、審判の





憧れの選手と辿る軌跡

----今後の目標

いきたいです。

――憧れの選手

---デフバスケの魅力

――プレー中のご自身の強み

チーム最年少、未来のホープ



▲将来を担っていく存在だと語る 若松選手(右、キャプテン)